

みえ市民活動・ボランティアニュース

2012

12

2012年11月25日発行  
通巻168号

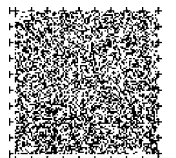
# ひろげる つなぐ かえる

熱中手帖。-これまで×これから- vol.6

親&子どものサポートを考える会

世話人代表 土田 幸子

下の模様はSPコードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



# 熱中手帖。

-これまで×これから- vol.6

精神障がい  
の親と暮らす  
子どもの現状を  
多くの方に  
知ってもらいたい

親&子どものサポートを考える会

世話人代表 土田 幸子

## 子どもたちに必要な支援を明らかに

障がいを持つ親と一緒に暮らす子どもをサポートしようと思ったきっかけは？

以前、三重県立小児心療センター「あすなる学園」で働いており、そこでの経験から始まります。精神が不安定になって入院してくる子どもの背景には、親の精神疾患や不安定さが関係していることがよくあるのですが、当時は子どもの症状ばかりを見ていたので、「親による影響」までは思い至りませんでした。

三重大学医学部看護学科に移ってから、「あの子の生活、ちょっと乱れてるな」と感じる学生と出会い、話をしていくうちに、その子の親が“統合失調症”だということが分かりました。学生から、「親の行動は症状のせいだから仕方がないとは思うけど、周りに対して恥ずかしい、嫌だという気持ちがあって誰にも言えなかった」と聞いた時、子どもの不安定さの背景が見えたとともに、一人で抱え込んでいて孤独なんだな、と痛感しました。

そこで、自分はそういう子どもたちと、どう関わっていけばいいんだろうと思い、いろいろ調べてみましたが、まったく情報がありませんでした。精神的

に不安定な親を持つ子どもたちがどんな生活をしていて、どんな支援を必要としているかを、ちゃんと明らかにしていけないと、と感じて研究を始めたのが活動のきっかけになりますね。

## 仲間とつながる場、情報交換の場をつくる 活動内容について教えてください。

はじめ、対象は中高生をイメージしていたんですが、いろいろと話を聞いていくうちに、大人になっても、子どもの頃に受けたトラウマが原因で、人と接する時に常に緊張していたり、“親を中心に置く生活”を強いられて弱音を吐けないといった「生活しづらい」環境にいることが分かりました。

そこで、平成21年9月に「親&子どものサポートを考える会」（以下、「親&子どもの会」と略）を発足し、同じような境遇の人たちと話しあう交流の場を持つと呼びかけたのですが、子どもたちは「親の病気のことを人に言ってはいけない」と思っているため、誰も参加してくれませんでした。しかし、翌年に講演会を開催したところ、「同じような境遇の

人としゃべってみたい」と4人の方が手を挙げてくれました。

平成22年5月から、集まってくれた4人のメンバーを研究対象にサポートグループとしてスタートしたのですが、メンバーがお互いのことを話し合ううちに、「私だけじゃなかった」と思えたり、自信や希望が持てたりするなど良い効果が表れ始めました。それなら、同じように困っている人たちが、もっと大勢で交流できる場があればと思い、アスト津で月に一度「交流会」を始めました。

交流会では、同じ境遇の人同士が「安心して思いを語れる場」を提供しています。誰かが口火を切ることで、「知識や情報」をどんどん提供してくれます。参加者の半数は他県から来てくれている人たちなのですが、遠くても毎月来てくれるということは、それだけ近くに語れる場がないのだと思います。そこで、交流会に来られない人や、参加する勇気がない、情報が欲しいといった人のために、平成22年12月にホームページを立ち上げ、全国的な情報発信にも取り組み始めました。掲示板を通じて、仲間とのつながりや情報交換の場をつくっています。

また、啓発活動として、精神障がいの親と暮らす子どもの現状を多くの方に知ってもらうための講演会を開いています。特に、中高生以下の子どもたちは身近にいる学校の先生からの支えを必要としていますので、学校に働きかけたり、県内29市町の教育委員会を周りながら開催の告知を行うなど、少しずつ浸透を図っています。

これまでの活動で分かったいろいろなことを、交流会やホームページなどで社会に発信していけば、子どもたちがもっと生きやすくなるのではと考えています。子どもの立場から相談を受けたときに、病気の説明や対処の仕方を伝えられるような、親の精神疾患について学べるツールを作りたいですね。親の病気を知ることで、心の重荷が軽くなることもありますから……。

\* 三重子どもの集い・交流会：基本的に毎月第3日曜日13:00～アスト津にて開催。日程が変更になる場合もあるので、詳細はホームページ参照。

## “つながり”を全国に広げていきたい

今後の展望についてお聞かせください。

今後は、「親と子」を対象としたサポートをしていきたいですね。親には子育てのサポート、子どもには自分のことを話したり支援を求められるような体制が必要だと思います。親子のコミュニケーションを取り持ち、双方が暮らしやすいように働きかけていきたいと考えています。

また、「同じ境遇だけど語り合える場が近くにない」といった声をよく聞きますので、全国各地の子どもたちが集まれる全国版の交流会が開催できればと計画中です。ぜひ、近い将来に「全国版の交流会」を実現させたいですね。

子どもたちには情報力や経済力がなく、親の影響を受けるだけなので、周りにいる学校の先生や地域の人たちが、子どもの立場にもっと関心を持って存在を認めてもらいたいです。精神疾患などの知識を持つことは難しいですが、あいさつなど普段の何気ない声かけで関係を作っておくだけで、子どもはSOSを出しやすくなります。精神疾患の親を持つ思春期の子どもたちが成長する過程で、周りの大人が手助けをしてくれると分かるだけで、大人になった時、苦しい思いを引きずらなくて済むと思います。

津の交流会では毎月10人前後の人たちが集まっていますが、一人で抱え込んでいる人はまだまだいると思っています。一人では解決できないことも、交流会で話し合うことで自分では気付かなかった解決方法が見つかるかもしれません。「親&子どもの会」を通して、人のつながりを全国に広げていきたいです。



「三重子どもの集い・交流会」の原型となったサポート・グループの語り合い

### DATA

#### 親&子どものサポートを考える会

住 所 〒514-8507  
三重県津市江戸橋2丁目174  
三重大学医学部看護学科内  
Tel & Fax 059-231-5260  
携 帯 080-1569-3768  
E-mail tsuchida.p@oyakono-support.com

ホームページ <http://www.oyakono-support.com>  
代 表 者 世話人代表 土田 幸子  
団体設立年月日 2009年9月10日  
会 員 数 13名  
会 費 年1,000円

# 助成金情報



市民活動



子ども



環境



スポーツ



市民活動

## 全日本社会貢献団体機構

### 社会貢献活動支援のための助成

**受付期間** 12月1日(土)～12月27日(木) 必着  
**対象団体** 助成対象事業に取り組む団体またはグループ  
**対象活動** 1. 一般助成

- ① 子どもの健全育成支援事業
- ② 命を大切にする研究・事業
- ③ 学術・文化の振興事業

#### 2. 特別助成(東日本大震災関連)

- ① 復興関連事業
- ② コミュニティ強化支援事業

**助成金の額** 1. 一般助成: 1件あたりの限度額 300万円  
2. 特別助成: 1件あたりの限度額 500万円  
※1 申請事業の総事業費は150万円以上  
※2 申請額は総事業費の80%以内  
※3 物品購入費、工事・改修費は申請額の20%以内  
詳細はHP参照

**応募方法** HPより申請用紙をダウンロードし必要事項を記入・捺印の上、原本を郵送。

**問合せ先** 全日本社会貢献団体機構 事務局  
〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町16  
市ヶ谷見附ハイム103  
Tel 03-5227-1047 Fax 03-5227-1049

**HP** <http://ajosc.org/subsidy/application.html>



子ども

## タイガーマスク基金

### 24年度給付申請募集

**受付期間** 12月10日(月) 必着  
**対象団体** 法人格を有し、主に児童養護施設などを退所した児童の自立を支援している団体

**助成金の額** 1法人につき50万円を上限

**応募方法** HPより法人用書式をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して郵送。  
※詳細はHP参照

**問合せ先** タイガーマスク基金  
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-1-18-301  
(ファザーリング・ジャパン内)  
Tel 080-6810-5215 (事務局/平日10:00～17:00)

**HP** <http://www.tigermask-fund.jp/howto.html>



子ども



環境

## (株)三重銀行「NPOサポートファンド」

**受付期間** 12月17日(月) 当日消印有効  
**対象団体** 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「子育て支援」、「環境保全」に関する活動を行っているNPO(法人格の有無不問)。

**助成金の額** 総額100万円を上限として10団体を目安に配分(ただし、1団体当たり上限は20万円)。なお、団体あて寄付のため、資金使途は自由です。

**応募方法** 次の資料を選考委員会事務局の三重銀総研へ郵送。  
(1) エントリーシート(三重銀総研HPからダウンロード)  
(2) 団体の目的や理念を記載した資料(定款、規約など)  
(3) 直近事業年度1年間の収支状況を記載した資料(財務諸表など)  
(4) その他、活動内容をPRできる資料(パンフレット、会報など)

**問合せ先** (株)三重銀総研  
〒510-0087 三重県四日市市西新地7-8  
Tel 059-354-7102(渡辺・畑中)  
Fax 059-351-7066

**HP** <http://www.miebank.co.jp/mir/>



環境

## 日立環境財団 平成25年度(第40回)

### 「環境賞」募集

**受付期間** 12月21日(金) 当日消印有効  
**対象団体** 個人、法人またはグループ  
**表彰の対象** 環境保全に関する調査、研究、開発、実践活動で画期的な成果を挙げ、または成果が期待される個人、法人またはグループ。(自薦または他薦)  
※詳細はHP参照

**表彰** ①環境賞…I 優秀賞(副賞100万円)  
II 優良賞(副賞50万円)  
②環境大臣賞…優秀賞受賞者のうち、特に優秀と認められるものに盾を授与

**応募方法** 公募によるものとし、関係学会、団体等の推薦または本人からの申請による。  
推薦者または申請者はHPより申請書をダウンロード、必要事項を記入し3部を郵送。  
添付資料がある場合も3部を同封のこと。

**問合せ先** (公財)日立環境財団  
〒101-8010 東京都千代田区外神田4-14-1  
秋葉原UDXビル21階  
Tel 03-3257-0851 Fax 03-3257-0854

**HP** <http://www.hitachi-zaidan.net/kankyo/works/work01.html>



スポーツ

## ヨネックススポーツ振興財団

### 平成25年度助成金(前期)募集

**受付期間** 12月31日(月) 当日消印有効  
**対象団体** 青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励または自ら行い、かつその活動を3年以上継続して実施している以下の団体。

- ① スポーツ振興を主たる目的とする公益社団・財団法人、一般社団・財団法人
- ② 上記以外の団体であって以下の要件を備える団体(NPO法人等)
  - ・ 定款、寄附行為に類する規約等を有する
  - ・ 団体の意志を決定し執行する組織が確立している

# 三重県 NPO 法人活動実態調査報告 6

## II 調査結果

### (5) 会計

今月号は「会計」の中から、新会計基準の「認知度」と「導入予定」についての項目を抜粋してご紹介します。

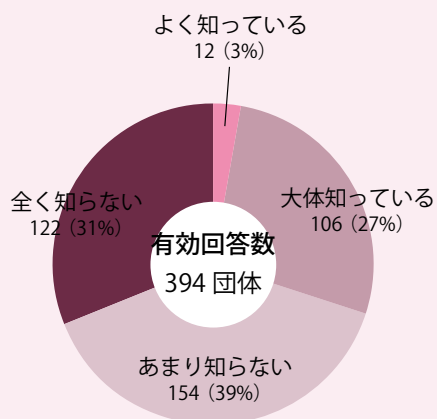
1998年にNPO法が施行されましたが、会計報告の基準となるルールが決められていなかったことから、NPO法人ごとに会計報告内容の違いが大きく、他との比較が難しい状態でした。

そこで、NPO法人が統一した基準で会計報告を行うことで、市民に対して活動を分かりやすく伝え、信頼と支援を得ることを目的とした、民間主導による「NPO法人会計基準」（以下、「新会計基準」と略）の策定が進められ、2010年に公表されました。

この新会計基準では、従来の「収支計算書」から、“活動実績としての資金の動き”を報告する「活動計算書」に変わりました。2011年6月のNPO法の改正においても、会計報告は新会計基準に沿った形で行うよう改正されました。

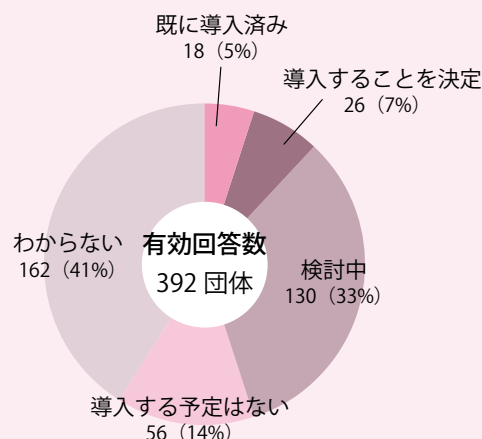
当面は、今までの「収支計算書」での報告も可能ですが、早い段階での新会計基準の導入が推奨されています。

#### 新会計基準の認知度



新会計基準の認知度について調査をしたところ、有効回答数394団体のうち、「よく知っている」「大体知っている」の合計が118団体に対し、「あまり知らない」「全く知らない」の合計が276団体と、認知度の低さが際立つ結果となりました。

#### 新会計基準の導入予定



有効回答数392団体のうち、「既に導入済み」「導入することを決定」の合計が44団体に対し、「検討中」が130団体、「導入する予定はない」「わからない」が218団体と、導入に向けての動きは鈍いことが伺われます。

今年度、三重県は「三重県NPO法人会計基準普及啓発事業」として、県内各地域で「新会計基準」の普及に向けた講座を開催しています。特に、「新会計基準について、あるいは導入方法についてよくわからない」といった疑問を抱いている団体の皆さまに、ぜひご参加いただきたいと思います。

開催概要は、「みえ市民活動ボランティアセンター」ホームページの「情報ひろば」、またはブログをご覧ください。

HP <http://www.mienpo.net/center/> ブログ <http://mienpo.blog14.fc2.com/blog-entry-220.html>

次号は、「協働」から抜粋したものを掲載する予定です。

#### 対象活動

- ・自ら経理し監査する等会計組織を有している
- ・団体活動の本拠としての事務所を有する

#### 助成金の額

青少年スポーツの振興に係わる事業  
1つの事業予算の1/2で概ね100万円以内

#### 応募方法

HPより助成金交付申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、対象団体であることを証明する書類を添付して事務局宛て申請。

#### 問合せ先

(公財)ヨネックススポーツ振興財団 事務局  
〒113-8543 東京都文京区湯島 3-23-13  
ヨネックス株式会社内  
Tel 03-3839-7195 Fax 03-3839-7196

#### E-mail

zaidan@yonex.co.jp

#### HP

<http://www.yonex.co.jp/zaidan/joseikin.html>

E-mail

HP ホームページ

# 募集とご案内

## 「耳を傾ける」という会話がある

### 若者の自立を考える家族向けセミナー

「ニート」と呼ばれる若者は自身では解決しづらい生きづらさや困難を抱えています。県では、若者との向き合い方や関わり方を学ぶ講演会やパネルディスカッションなどを開催いたします。ご家族だけで抱え込まず、ぜひご参加ください。

#### 【松阪会場】

学校と就労のはざままで悩む若者について

**講師** 川村 正人氏

キャリアコンサルタント

**日時** 12月1日(土) 14:00～16:00

**場所** 松阪市産業振興センター  
(松阪市本町 2176)

#### 【伊賀会場】

「イマドキの若者」を考える—80年代、90年代、00年代以降の若者の比較から—

**講師** 石坂 督規氏

東京未来大学准教授

**日時** 12月2日(日) 14:00～16:00

**場所** 三重県伊賀庁舎  
(伊賀市四十九町 2802)

#### 【桑名会場】

若者の生きづらさと自己肯定感

**講師** 高垣 忠一郎氏

立命館大学教授・臨床心理士

**日時** 12月9日(日) 14:00～16:00

**場所** 桑名市総合福祉会館  
(桑名市常磐町 51)

**対象** 若者の自立に悩む家族、および関心のある方

**参加費** 無料 ※事前申込みが望ましい

**主催** 三重県若者自立支援センター

**問合せ先** Tel 059-246-1212 (三宅・沖)  
Fax 059-222-3301

**メール** wakamono@pref.mie.jp

**HP** <http://www.oshigoto.pref.mie.lg.jp>

## 楽しみながら国際交流!

### Hand in Hand!

#### みえの地球市民 2012

ミニ講演会、展示、歌、国際理解セミナー、料理など多様なプログラムを通して、楽しみながら多文化共生社会への理解を深めることができる国際交流イベントです。

**日時** 12月9日(日) 10:00～16:00

**場所** みえ県民交流センター  
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

#### 【プログラム内容】

■世界とつながった三重の人びと  
10:30～12:00

ゲストスピーカーから鈴鹿の大黒屋光太夫、伊賀の高久甚之助、志摩の伊東里きにまつわる話をお聞きします。

■地球市民のホンネでトーク

10:30～13:00

さまざまな国籍の参加者が日本の文化や習慣について、ホンネでトークを行います。これまで気づくことのなかった「ニッポン」を知ることができるかもしれません。

■楽しもう! 祖国の民謡・童謡

12:00～13:00

さまざまな国籍を持つ参加者が、祖国の民謡・童謡をメッセージを込めて熱く歌います。

■体験しよう! 伝統ファッションとメイク

10:00～16:00

他国の伝統的な民族衣装や着物の試着ができます。メイクと写真撮影もあります。

■国際理解セミナー

10:30～13:00 (※要申込み)

JICA 中部、多文化共生課、三重大学国際交流センターの共催で、「今世界で起こっていること」をテーマに多文化共生への理解を深めるワークショップなどを実施。

■世界のNPO・地域コミュニティトーク

13:30～15:30 (※要申込み)

ベトナムでストリートチルドレンの支援や農村地域に橋をかける活動を行うチャン・ヴァン・ソイさんをゲストに、ベトナムのNPO・ボランティア、地域コミュニティについてお話しいたします。

■セイロン瓜料理教室

鈴鹿市発信の新野菜「セイロン瓜」の料理体験・試食

■展示出展ブース

国際交流関連の諸団体の活動発表・販売等による資金づくり

※そのほか飲食コーナー、オープニングセレモニーなど

**対象** どなたでも

**参加費** 無料 ※一部要申込み

**主催** みえNPOネットワークセンター  
(みえ県民交流センター指定管理者) 企画会議メンバー

**問合せ先** Tel 059-222-5995  
(横山、安村、田中、富田、三好)  
Fax 059-222-5971

**メール** center@mienpo.net

**HP** <http://www.mienpo.net/center/>

## NPOと企業の連携を深めていくためには?

### 「企業経営と地域社会のつながりを考える」セミナー

NPOと企業の連携に向けて、「経営戦略としての社会貢献活動」をテーマに、影山 摩子弥さん(横浜市立大学 CSR センター LLP センター長)からお話ししていただきます。

※Mブリッジによる「企業と地域社会との関わり方についての意識調査」の報告、(株)リプロ・(特活)a trio による「企業の社会貢献・NPOとの協働事例紹介」もあります。

**日時** 12月14日(金) 14:00～16:30

**場所** 三重県総合文化センター  
レセプションルーム

**対象** 「地域をよくしたい」と想っている企業・NPOの方、今回のテーマに関心のある方

**参加費** 無料 ※要申込み

**主催** 三重県男女共同参画・NPO課

**問合せ先** Tel 059-222-5981 (川端・寺田)  
Fax 059-222-5984

**メール** seiknpo@pref.mie.jp

**HP** <http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/>

## 第48回 日本笑い学会みえユーモア支部 笑例会

### 『笑い与健康について 学びましょう!』

講演 『笑い与健康』

**講師** <sup>ふちた はかる</sup> 淵田 科先生

医学博士 山中胃腸科病院理事長

笑いヨガ 『ヨガの呼吸法を取り入れた笑いの体操』

**講師** 福本 登美子さん

日本笑い学会講師 笑いヨガティーチャー  
中村 富美さん

日本笑い学会みえユーモア支部事務局長

ミニ講演 (予定)

『ユーモアの言葉～笑いの働き』

**講師** 井上 宏先生

日本笑い学会顧問

『笑うこと、忘れること』

**講師** 矢野 宗宏先生

日本笑い学会理事

**日時** 12月15日(土) 14:00～16:30

**場所** じばさん三重 4階視聴覚室

**参加費** 800円(会員無料) ※申込み不要

**主催** 日本笑い学会みえユーモア支部

**問合せ先** Tel & Fax 059-232-6409(中村)

**メール** waraigakkaimie@gmail.com

## 「第4回三重県新しい公共円卓会議」開催のお知らせ

これまで開催されてきた「三重県新しい公共円卓会議」での議論を経て、今回「新しい公共推進指針(仮称)」の「中間案」が完成いたしました。現在、県民の皆さまからいただいたパブリックコメントを参考にしながら、「最終案」の作成に取り掛かっています。

次回の円卓会議では、「最終案」について委員の皆さまと議論を行います。どなたでも無料でご参加いただけますので、ぜひお越しくださいませ。

**日時** 平成24年12月15日(土) 14:00～16:00

**場所** みえ県民交流センター  
(三重県津市羽所町700番地 アスト津3階)

**問合せ先** (特活) みえ NPO ネットワークセンター  
Tel & Fax 059-363-3539

**✉** ssk21ww@yahoo.co.jp

**HP** <http://mienponet.org/>

### 本場の味を作ってみませんか

#### ドイツのクリスマス・お菓子作り教室

ドイツ人留学生2名を講師に迎えて、クリスマス・クッキーやシュトレン(ドイツのクリスマスケーキ)を作ります。

**日時** 12月22日(土) 13:30～16:00

**場所** 三重県総合文化センター・フレンドみえ1階「生活工房」

**対象** どなたでも

**参加費** 材料費実費 ※要申込み

**主催** 三重日独協会

**問合せ先** Tel 059-232-0594 (向井)

**✉** am.deutsch1685@gmail.com

### ミニフリーマーケット

#### えこえこバザール

手作り手芸小物や木工品、押入れで眠っていた不用品、新鮮野菜や県産小麦パンなどの販売の他、刃物研ぎ実演も。掘り出し物に出会うかも。暮らしの知恵に出会うかも。来場お待ちしています。

※買い物袋をご持参ください

※来場された方に花・野菜の種をプレゼント

※廃食油(天ぷら油)、リサイクルマークの付いた紙箱を持参いただいた方(先着30名)にトイレトペーパーをプレゼント

**日時** 12月2日(日) 10:30～15:00

**場所** 津市西部クリーンセンター 1階

**問合せ先** 津市市民エコ活動センター  
〒514-0081 津市片田田中町1304

Tel&Fax 059-237-1185

**✉** eco-center@mist.ocn.ne.jp

**HP** <http://www.eco-tsu.net/>

### 子育て支援団体とママとの絆づくり

#### 三重子育てITフォーラム2012 in 四日市

facebookを活用して～実際の交流～より深いつながりへ

##### 【第1部】

講演会「女性の・母の精神的自立と子どもとのかかわり方」

**講師** 木村まさ子氏

##### 【第2部】

交流会 & facebook 相談コーナー

**日時** 12月5日(水) 13:30～16:00

**場所** 四日市文化会館 第3ホール

**参加費** 前売:2,000円

当日:2,500円、地域セミナー

一般参加者:1,000円

(託児:500円/人)

**募集人数** 150名(地域セミナー参加者優先・先着順)

**応募方法** HPから申込み。または、HPからチラシ(申込用紙)をダウンロードし、必要事項を記入の上、チラシに記載のFaxにて申込み。

**主催** (特活) 愛ママズIT倶楽部

**協力** 多胎育児児サークル ひまわりクラブ

**問合せ先** Tel 090-5601-7155 (中森)、  
090-7602-9192 (佐藤)

**HP** <http://aimams.jimdo.com/2012/09/15/>

チケット発売中 - 三重子育てITフォーラム2012/

**✉** E-mail **HP** ホームページ

#### 【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

#### ホームページ 原稿用

##### フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

## NPOサポートファンド

寄付先  
募集中

☆総額100万円!使い道は自由です!

**応募資格** 三重県内に主な活動拠点を置き、主に「子育て支援」、「環境保全」に関する活動を行っているNPO(NPO法人のほか、任意団体などを含みます)。

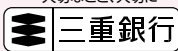
**応募締切** 12月17日(月)<消印有効>

**選考方法** 書面、プレゼン選考により寄付総額100万円を上限として配分(1団体当たり上限20万円)

【お問い合わせ先】

株式会社三重銀総研 調査部  
TEL:(059)354-7102(担当 渡辺、畑中)  
URL:<http://www.miebank.co.jp/mir/>

“大切なこと、大切に”



詳しくは  
ホームページ

## NPOのための なんでも相談会

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は? 職員を雇う時の手続きは? 助成金をとりたいけど... など、NPO に関するご相談に応じます。

※抽選のため、相談日の1週間前にはお申込みください。

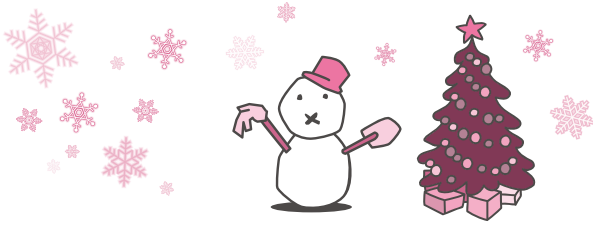
- 【日 時】 2012 年 12 月 15 日 (土) 13:00 ~ 14:00  
【対 象】 NPO 法人設立を考えている団体や個人、  
NPO・中間支援センタースタッフ、  
NPO・市民活動に関心のある市民など  
【相 談 員】 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター  
理事長 服部則仁  
【場 所】 みえ県民交流センター (アスト津 3 階)  
【お申込み先】 みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel 059-222-5995 Fax 059-222-5971  
E-mail center@mienpo.net



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

(Monthly Selection)

- ◆ 平成 23 年度 とちぎボランティアNPOセンター事業報告書  
編集・発行: とちぎボランティアNPOセンター ぼ・ぼ・ら  
発 行 日: 2012 年 3 月
- ◆ 「平成 23 年度特定非営利活動法人の実態及び認定特定非営利活動法人制度の利用状況に関する調査」報告書  
編集・発行: 内閣府  
発 行 日: 2012 年 8 月
- ◆ 井村屋グループ CSRレポート 2012  
編集・発行: 井村屋グループ株式会社 総務・人事グループ  
発 行 日: 2012 年 5 月
- ◆ シャープ三重工場 環境・社会貢献活動情報誌 2012 年版  
編集・発行: シャープ株式会社 三重(多気)工場 三重環境安全推進センター  
発 行 日: 2012 年 9 月



「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細 6 ページ)

## みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】 県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】 百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽/パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

## NPO相談

日頃受けている相談内容などから順次、紹介していきます。



**Q** NPO法人会計基準では、ボランティアの件費を費用として計上できますが、この項目は必須記入項目でしょうか? また、表示・計上した場合のメリットを教えてください。

**A** 無償で提供された「ボランティアの件費」を費用として計上することはできません。

ただし、「ボランティア評価費用」としてなら件費に計上できます。その場合は、「ボランティア受入評価益」として、同じ額を収益に計上することとセットになっています。

実際にお金を支払ったのではなく、労力(役務)を「寄付」していただいたのですから、それを金額に置き換えて「評価」し、それを収益と費用の両方に計上して相殺し、実際のお金がうごいていないことを示します。

これは必須記入項目ではなく、任意項目です。

NPOはボランティアによる無償の労力の提供(寄付)に支えられている部分も多いのですが、いままでの会計方式では、このボランティアの労力を金額評価できませんでした。そのため、財政規模だけでNPOの活動規模を知ろうという単純な発想で、NPOの財務諸表だけを見て「ほとんど活動していない」とかってに思い込む人たちもいたかと思えます。

今回のNPO法人会計基準では、ボランティアに限らず、「無償もしくは著しく低い価格で提供される財およびサービス」についても、任意ではあっても、数字に評価して示すことができるようになりました。それらにより、より正確にNPOの活動規模を説明することができます。多くの善意に支えられていることを、数字で具体的に示せることで、たくさんの人たちの理解を得やすくなるというメリットがあります。

認証した特定非営利活動法人  
(2012年10月10日~2012年11月9日認証分)

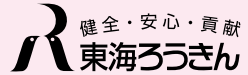
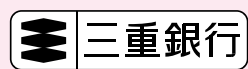
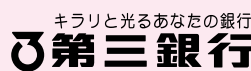
①認証団体名②法人事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

- ①特定非営利活動法人 優和キャリアサポート協会
- ②四日市市城西町 13 番 28 号 第二大誠ビル 30 A
- ③保健、社会教育、まちづくり、環境、人権、男女、子ども、経済活動、職業能力、消費者、その他
- ④ 2012 年 11 月 5 日
- ⑤代表理事 竹村 幸子

- ①特定非営利活動法人 三重県洋画協会
- ②津市一身田大古曾 212 番地
- ③文化
- ④ 2012 年 11 月 7 日
- ⑤会長 田島 健次

## 協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



環境にやさしい植物油インキを使用しています。